令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　大学院危機管理学研究科

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。

P		D		C		A
・執行部会議 （大学院分科委員会）	→	・各種委員会	→	・三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会 ・三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会 （執行部会議）	→	・各種委員会 （執行部会議） （大学院分科委員会）

２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③
内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。
＜評価の視点＞
・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

本部と連携をして，絞り込んだ項目を三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会で集中的に点検・評価していたが，今年度からは，次期認証評価を見据え，全項目において点検・評価を執行部の指示の下，実施するよう改善を図った。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

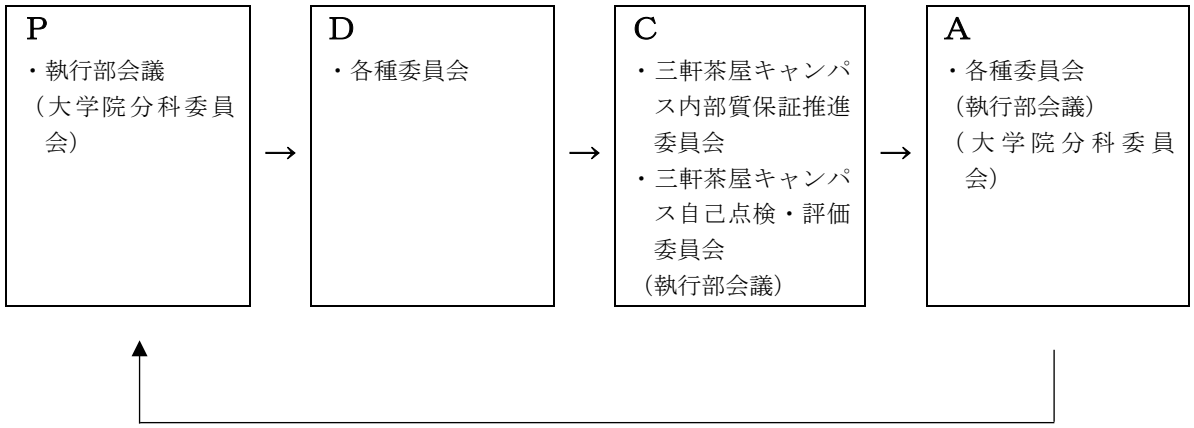
【提言（改善課題）】
研究科のＰＤＣＡサイクルは，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会の検討結果を踏まえて大学院委員会及び大学院分科委員会での点検・評価を経て執行部会に報告し，運

営改善に活用されているが，その機能を客観的に示す内部質保証体制や活動記録，ＰＤＣＡサイクル図等の文書が確認できなかったため，改善が求められる。くわえて，令和６年度大学評価（認証評価）において，修士課程では，教育課程の編成に関する基本的な考え方を示していないとの提言が付されている。そのため，内部質保証体制を機能させ，自ら定めた体制の下，教育課程の編成・実施方針を適切に定めるよう改善が求められる。

令和８年度改正に向けて大学院委員会（Ｄ）において修正案を作成し，執行部会議（Ｃ）で点検・評価の上，大学院分科委員会（Ａ）において検証を行った。既に大学院委員会で修正案を作成の上，本部学務課及び大学評価室ともやり取りを実施し，修正案が固まっている段階となっている。しかしながら，大学本部が前提的な方針を示すとのことで，現在本部の対応待ちとなっている状況である。本部の方針が出た際には，その方針を踏まえ大学院委員会（Ｄ）において，再度修正案を作成し，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（Ｃ）及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（Ｃ）において点検・評価の上，大学院分科委員会（Ａ）の決定を踏まえ本部への改正手続きを行う予定としている。

基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

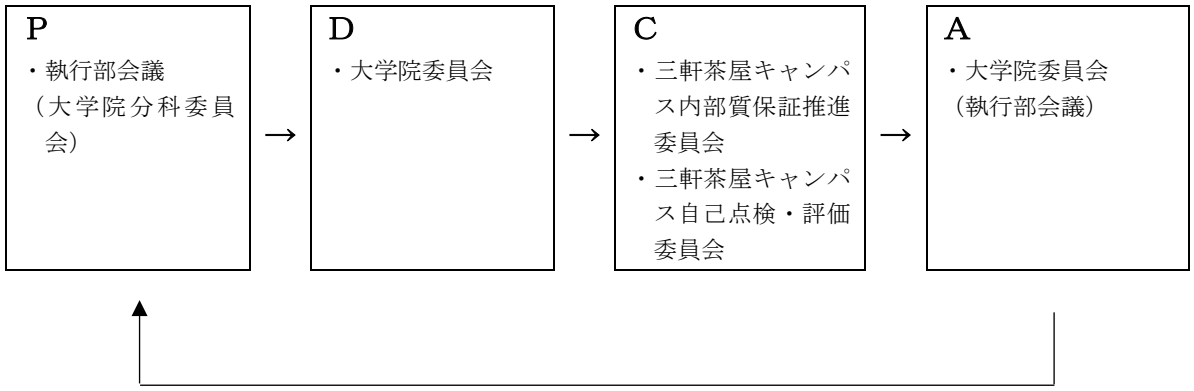
本研究科では，教育研究組織の見直し等について，まず専攻主任が所管する大学院委員会（D）において検討・発議し，その内容を三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）で点検・評価の上，研究科長が所管する大学院分科委員会（A）に付議して最終的な審議・承認を行うという体制の下，組織的な点検・評価を実施している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

㊶　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

執行部会議（Ｐ）から，各学期（前学期・後学期）における教育の内部質保証のための点検・改善について大学院委員会（Ｄ）に提言し，大学院委員会（Ｄ）は，各教員に対し学期ごとに授業改善計画書を作成させ，自身の授業について振り返る機会を設定している。また学期ごとに学生による授業評価アンケートも実施し，各教員に結果を配信の上，改善を促している。大学院委員会（Ｄ）は，実施状況を三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（Ｃ）に報告し，三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（Ｃ）は，その報告内容を確認・評価した上で，大学院委員会（Ａ）への改善・向上を促すこととしている。

㊸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）による自己点検・評価結果を三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び執行部会議（A）に報告し，執行部会議（P）は，その報告内容を次年度の事業計画作成や学務委員会（D）への諮問に活用し，次年度の教育活動等の改善に反映，実行している。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

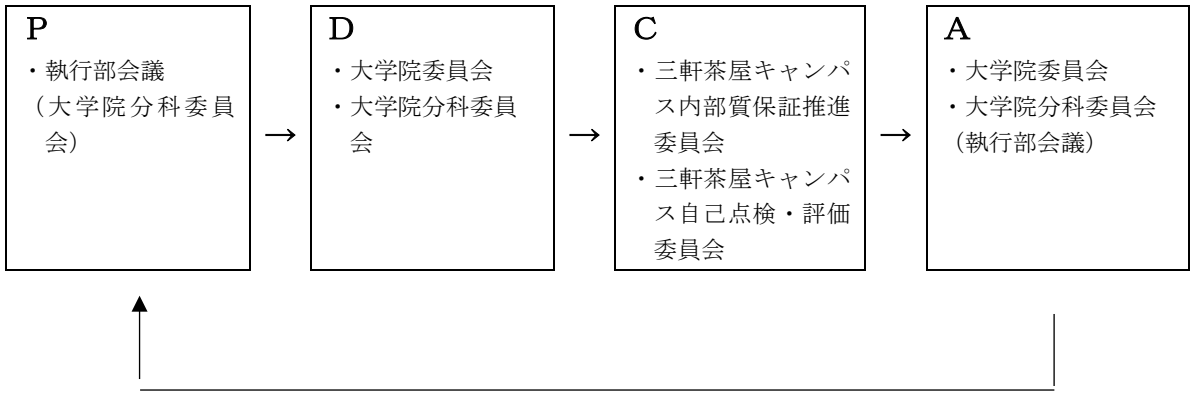
【提言（改善課題）】

令和６年度大学評価（認証評価）結果において，「教育課程の編成・実施方針について，危機管理学研究科修士課程では，編成に関する基本的な考え方を示していない」と提言が付されているため，改善が求められる。

令和８年度改正に向けて大学院委員会（D）において修正案を作成し，執行部会議（C）で点検・評価の上，大学院分科委員会（A）において検証を行った。既に大学院委員会で修正案を作成の上，本部学務課及び大学評価室ともやり取りを実施し，修正案が固まっている段階となっている。しかしながら，大学本部が前提的な方針を示すとのことで，現在本部の対応待ちとなっている状況である。本部の方針が出た際には，その方針を踏まえ大学院委員会（D）において，再度修正案を作成し，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）において点検・評価の上，大学院分科委員会（A）の決定を踏まえ本部への改正手続を行う予定としている。

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

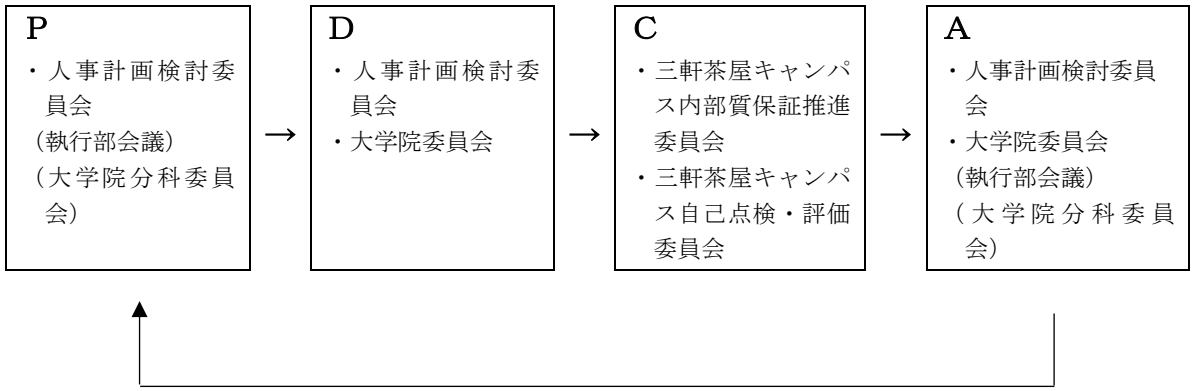
大学院委員会（D）で入学者の属性分析等を実施し，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）で入試制度の最適化の観点で点検・評価を行っている。その評価内容について大学院委員会（A）で確認・検討を実施し，その改善方策（留学生選抜導入検討，博士後期課程の社会人獲得に向けた検討等）を大学院分科委員会（P）に提言している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㉘　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会が，毎年度，自己点検・評価を行っている。

また，各委員会の委員長が集まり，大学院分科委員会開催日に委員長懇談会を開いて意見交換を行っている。

特に今年度から執行部で毎週一定の項目を抽出して協議，改善に向けて取り組んでいる。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

具体的な時間割編成方法や人員配置の根拠が示されておらず，実際に適切な授業負担が実現しているかを客観的に判断することが難しいため，改善が求められる。

紹介に依拠した採用方法のみでは，教員採用の公正性や透明性，多様性の確保という点に課

題が残る。特に，外部への広報や公募の実施が確認できないことから，開かれた採用機会の保障や広範な人材からの選抜機会の創出といった観点で不十分と言わざるを得ないため，改善が求められる。

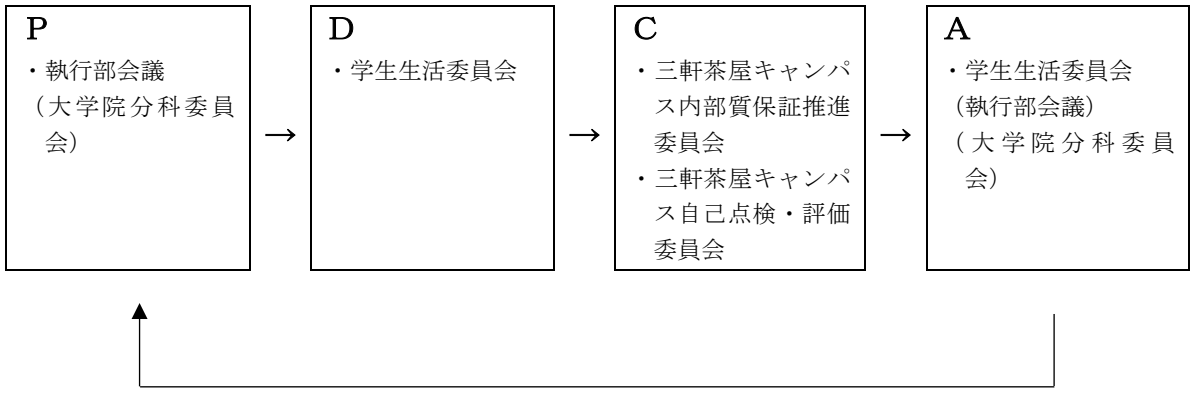
実質的な取組の内容や成果（女性応募者の割合や採用実績，選考時の配慮等）については明記されておらず，今後の具体的施策や制度的な支援体制の強化が課題であり，改善が求められる。

現状では，評価方法や基準の具体性，成果のフィードバック方法についての記述が限定的であるため，改善が求められる。学部等教員組織編制方針に基づき人員配置を行っているが，客観的に判断が可能となるよう担当コマ数による適切な授業負担を図るなど，執行部会議・人事計画検討委員会で改善を計画検討し，人事計画検討委員会・人事委員会において改善実行を図る。

採用方法については，危機管理学のオールハザードアプローチに基づいた４領域である①災害マネジメント領域，②パブリックセキュリティ領域，③グローバルセキュリティ領域，④情報セキュリティ領域及び新カリキュラムで展開するガバナンス・コンプライアンスなどの授業を担当できる専門家をバランスよく配置すること執行部会議・人事計画検討委員会で心掛けている。カリキュラムで必要な人材をリストアップされた候補者について，人事委員会で審査を行っている。

基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②
学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。
＜評価の視点＞
・学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。
・点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

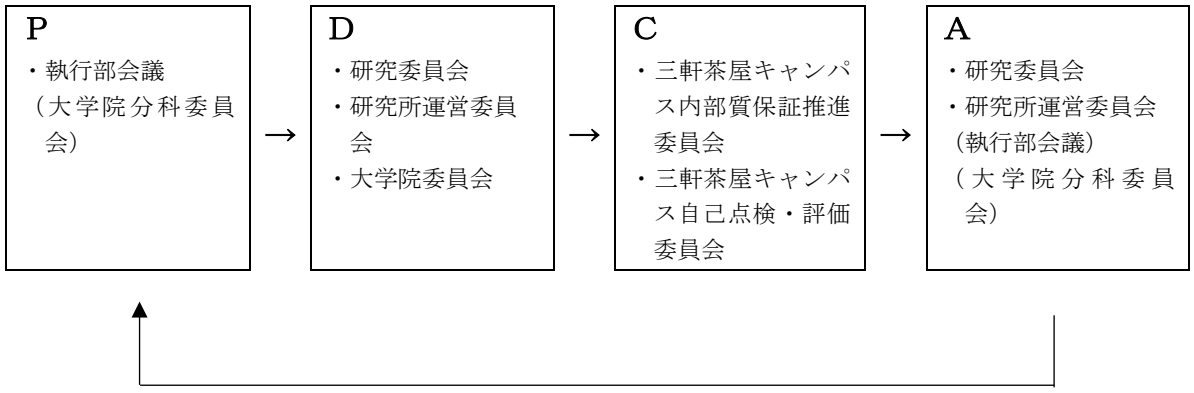
定期的に委員会を開催し，課題の把握，改善に努めている。
学生支援に関わる事項を定期的に点検するために，研究指導教員が責任もって一人一人の学生の支援に取り組んでいる。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

危機管理学研究科では，ＰＤＣＡサイクルを意識して，年次ごとに，前年に立てた事業計画（教育研究等環境に関わる状況含む）がどの程度達成されたかについて，「事業報告」の一環として自己点検・評価を実施している。その結果，改善の余地がある事案に関して継続的にブラッシュアップし，効果的な取組へとつなげている。

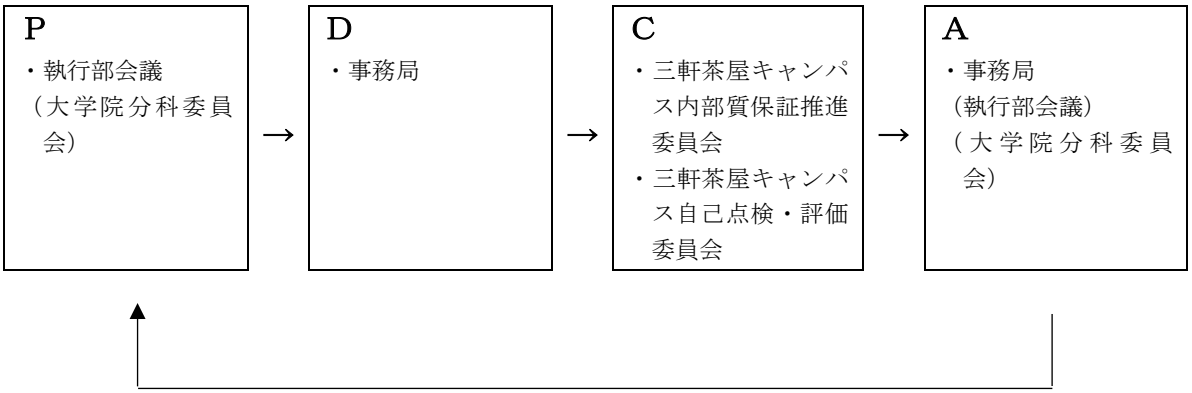
また，大学院生の研究等環境の維持向上のため，図書館内の一部教室を大学院生向けの学修スペースとして開放し，大学院生の教育・研究に資するため，学外講師による大学院特別講義を定期的に開催している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー&ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

危機管理学研究科では，三軒茶屋キャンパス自己点検・評価委員会（C）において，当該事項に関する点検・評価を定期的に実施し，三軒茶屋キャンパス内部質保証推進委員会（C）及び執行部会議（A）に報告している。執行部会議（A）はその報告を踏まえ，改善内容を大学院分科委員会（P）に報告し，大学院分科委員会（P）は次年度に向けた計画を立てている。

事例としては，大学院特別講義の一部の回を一般公開とするとともに，アーカイブ配信を行い，大学院の研究教育活動を積極的に社会に還元している。さらに，大学院ホームページでそれらの社会貢献活動について積極的に広報している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし